# 授業展開例（公民科・政治・経済）

1　校種・学年　高等学校　第３学年

2　単元（題材）名　　法の下の平等と自由権・豊かに生きる権利

3　単元（題材）について

〇単元（題材）観

基本的人権は，生徒一人ひとりが幸福を追求して生きていくための極めて身近な概念である。しかし，基本的人権について規定している，日本国憲法第３章「国民の権利及び義務」の各条文は非常に抽象的なものであるため，ともすれば知識を注入するだけの学習に終わってしまう危険性がある。そのため，「ちがいのちがい」という参加体験型の学習活動において，自らが気づき，考えることを通して，基本的人権の概念について理解を深めさせていきたい。

〇生徒観　〈省略〉

〇指導観

一斉授業では，積極的に発言のできる生徒もいるが，指名されることを苦痛に感じ，発言に消極的な生徒も少なくない。本時の指導では，４人の小グループの中で自分の意見を発言したり，他人の意見を聞いたりする活動を通して，基本的人権についての理解を深めていく指導を行う。教室全体では発言に消極的な生徒も，少人数のグループでは，発言することに抵抗感がなくなり，理解が深まるものと考えられる。

指導内容の柱となる憲法第 14，24，25，26 条などは抽象的な言葉が並んでいる条文である。これを理解させるためには，より具体的な事例の提示や，グループトーク等の方法が有効であると考えられる。「ちがいのちがい」は，基本的人権の概念について，具体例を通して，仲間とコミュニュケーションをとりながら，共感・直感を含めた考察を体験的に行うものである。人権が尊重されていることの「妥当性」と，侵害されていることの「問題性」を，仲間と話し合うことによって認識させることができると考える。

4　単元（題材）の目標

〇単元の目標

**・民主政治の重要な要素の一つである基本的人権の尊重の概念を，具体例を通して理解させる。**

**〇人権教育の視点**

**・「あっていいちがい」に気付き，個性や文化の多様性について認めることができる。**
**・「あってはいけないちがい」に気付き，人権尊重の視点を持つことができる。**
**・グループトークにおいて，円滑で効率的なコミュニケーションを取ることができる。**

5　評価規準

| 関心・意欲・態度 | 思考・判断 | 技能・表現 | 知識・理解 |
|---|---|---|---|
| 基本的人権が侵害されたというのはどのような状態か，ということについて，自ら考え，それを積極的に相手に伝え，また，しっかり相手の意見を聞こうとしている。 | 各事例について，基本的人権が侵害されている状況であるか否かを，筋道立てて判断し，なぜ，そうなのか，ということについて考察している。 | 各事例について，基本的人権が侵害されている状況であるか否かを判断し，なぜ，そうなのか，ということについて仲間と話し合い，的確にまとめることができる。 | 「ちがいのちがい」を通して，民主主義の本質にかかわる基本的人権（平等権・自由権・生存権・学習権）の概念を理解することができる。 |

6　指導と評価の計画（全４時間）

| 時 | 学習内容 | 評　価 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 関心 | 思考 | 技能 | 知識 | 評価規準 | 評価方法 |
| 1（本時） | 人権とは何か | ○ | ○ | ◎ | ○ | 「あっていいちがい」と「あってはいけないちがい」について，自分の考えを的確にまとめ，相手に伝えることができる。相手の意見を聞き，ペアの意見をまとめることができる。 | ワークシート<br>観察・発表 |
| 2 | 法の下の平等と自由権 | | ○ | | ◎ | １限目で取り上げた具体的事例をもとに，法の下の平等の概念（人種・信条・性別によって差別されない）について考察し，理解する。 | ワークシート<br>観察・発表 |
| 3 | 法の下の平等と自由権 | | ○ | | ◎ | １限目で取り上げた具体的事例をもとに，自由権（精神の自由・人身の自由）について考察し，理解する。 | ワークシート<br>観察・発表 |
| 4 | 豊かに生きる権利 | | ○ | | ◎ | １限目で取り上げた具体的事例をもとに，社会権（生存権・学習権）について考察し，理解する。 | ワークシート<br>観察・発表 |

7　本時の展開

| 学習活動 | 指導上の留意事項 | 評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|
| （導入）<br>○人権とは何か，人権侵害とはどんなことか各自の考えをワークシートに記入する。 | ○机間指導を行いながら，必要に応じてコメントを加える。 | | 観察法<br>ワークシート |
| （展開）<br>○各自で，ワークシートの「ちがいのちがい」の問いに回答する。<br><br>○４人のグループをつくり，各自の回答とその理由について説明し合う。<br><br>○グループとしての回答を話し合って決める。<br><br>○各グループで話し合った回答とその理由を黒板に記入し，代表者が発表する。 | <br><br>**○相手の話をきちんと聴くよう，傾聴のスキルについて指導する。**<br><br>○全員が納得するようグループ内の意見をまとめる。<br><br>○正解，不正解という観点で聞くのではなく，グループのメンバーが納得した理由を大切にするよう指導する。 | **思筋道立てて判断し，なぜ，そうなのか，ということについて考察している。**<br><br>**関自ら考え，それを積極的に相手に伝え，また，しっかり相手の意見を聞こうとしている。**<br><br>**技仲間と話し合い，的確にまとめることができる。** | 観察法<br>ワークシート |
| （まとめ）<br>○共通点について，まず自分で考え，その後，グループ内で話し合って，ワークシートに記入する。<br><br>○今日の作業全体の感想を記入しまとめ，教室内で交換する。 | | **知民主主義の本質にかかわる基本的人権（平等権・自由権・生存権・学習権）の概念を理解することができる。** | 観察法<br>ワークシート |

**＜ちがいのちがい　ワークシート＞**

**3年（　）組（　）番　名前（　　）**

**１　次の１～８の項目について，「あっていい違い」と「あってはいけない違い」に分類しましょう。**

①　先生はパーマをかけてもよいが，生徒はかけてはいけない。

| 自分の答え | グループの回答 | 理由 |
|---|---|---|
| | | |

②　イチロー選手の年収は５億円を超えるが，高校時代同級生だったＡさんの年収は約 400 万円だ。

| 自分の答え | グループの回答 | 理由 |
|---|---|---|
| | | |

③　バレンタインデーでＤ君はチョコレートを 10 個もらったが，Ｅ君はもらわなかった。

| 自分の答え | グループの回答 | 理由 |
|---|---|---|
| | | |

④　Ａ国のあるゴルフクラブでは，ヨーロッパ系白人は入会できるが，ユダヤ人や日本人は入会できない。

| 自分の答え | グループの回答 | 理由 |
|---|---|---|
| | | |

⑤　Ｆさんは巨人ファンだが，Ｇさんは広島ファンである。

| 自分の答え | グループの回答 | 理由 |
|---|---|---|
| | | |

⑥　ある国では大統領を批判した人は逮捕されるが，別の国では大統領を批判しても逮捕されない。

| 自分の答え | グループの回答 | 理由 |
|---|---|---|
| | | |

⑦　ある会社では，女性だけがお茶くみやコピーをとっているが，別の会社では，男性も女性もお茶くみやコピーをとっている。

| 自分の答え | グループの回答 | 理由 |
|---|---|---|
| | | |

⑧　日本では10歳のＬちゃんは，毎日学校へ通っている。
B国では同じ年齢のMちゃんは毎日，路上でガムを売って生活費を稼いでいる。

| 自分の答え | グループの回答 | 理由 |
|---|---|---|
| | | |

## ２　「あっていけない違い」に共通する特徴は何でしょう？

| あなたの意見 | グループの意見 |
|---|---|
| | |

## ３　「あってもよい違い」に共通する特徴は何でしょう？

| あなたの意見 | グループの意見 |
|---|---|
| | |

## ４　ふりかえり

①　自分の意見をしっかり言うことができましたか。

**１　しっかり言えた　　２　まあまあ言えた　　３　あまり言えなかった　　４　全く言えなかった**

②　相手の意見をしっかり聞くことができましたか。

**１　しっかり聞けた　　２　まあまあ聞けた　　３　あまり聞けなかった　　４　全く聞けなかった**

③　感想

| |
|---|
| |